

ゲノム編集セミナー

CRISPR

Edit-R CRISPR-Cas9 Genome Engineering in Plant genomics

2017年 10月 18日 (水)

14:00-15:00 遺伝子実験センター2Fセミナールーム

遺伝子発現を調節するツールとして、遺伝子ノックダウンや過剰発現系などが開発され、様々な研究に使われてきました。これらの技術の発展形として、特定の遺伝子を直接改変するゲノム編集ツールが新しい遺伝子操作技術として現在注目を浴びています。本セミナーでは、ゲノム編集の原理のみならず、CRISPR RNAのデザイン方法、植物で行われている導入事例紹介、実験ワークフローなど、GEヘルスケアにおける最新のCRISPR-Cas9ゲノム編集プラットフォームをご紹介します。また、ゲノム編集後の細胞の観察測定に有用な機器についてもご紹介いたします。

- ・ CRISPR/Cas9 ゲノム編集システムの基礎
- ・ 植物で行われているゲノム編集技術紹介
- ・ GEヘルスケアがご提供する
「Dharmacon Edit-R CRISPR-Cas9 platform」
- ・ ゲノム編集後の細胞測定に有用な機器紹介

演者： GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
ライフサイエンス統括本部
大島英之 理学博士 hideyuki.oshima@ge.com

お問い合わせ：野中 聡子 (nonaka.satoko.gt@u.tsukuba.ac.jp)